

教 科	外国語	科 目	English Communication I
履修条件 対象生徒	必修科目 デザイン科 1 学年		
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。		
学習方法	〔授業〕 ・ 予習をして、授業に臨むこと。予習の段階で出てきた問題点を授業中に解決するという意思を持って、集中して授業に取り組むこと。板書、口頭による説明等をノートに書き留める音読練習、リスニングも積極的な態度で取り組む。新出単語・熟語・重要構文を授業内でしっかりと理解する。 〔家庭学習〕 ・ その日の授業内容の復習をする。続いて、次時の予習をする。予習では、まず教科書のQRコードを利用して新出単語の発音や意味を辞書で調べる。その際、本文の音読を聞いて本文の内容把握もしておく。 〔補習・その他〕 与えられた補助教材を活用して、自主的かつ意欲的に取り組む。		
学習計画 と ね ら い	< 1 学期末考査まで > オリエンテーション Lesson 1 The Aurora (春休みに見たオーロラ) Lesson 2 Soy Meat (大豆ミートのすごいところは?) Lesson 3 Capsule Toys (カプセルトイって面白い) Lesson 4 Pictograms (ピクトグラム) < 2 学期末考査まで > Lesson 5 We Are Part of Nature (動物写真家、岩合光昭) Lesson 6 A Small, but Happy Country (ニウエという国、知っていますか) Lesson 7 AI and Sports Refereeing (AIと人間の審判、判定はどうなる) Lesson 8 Is There a Santa Claus? (サンタクロースっているの?) < 学年末考査まで > Lesson 9 Kids' Guernica (ゲルニカから生まれた平和への祈り) Lesson 10 Ethical Fashion (エシカルファッションって何?)) ○授業の進め方、予習・復習の仕方の説明 ○be動詞・一般動詞の過去形 ○現在進行形・過去進行形 ○助動詞 ○動名詞 ○不定詞 ○現在完了形 ○受け身 ○名刺を修飾する分詞 ○関係代名詞 ○比較		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	本文で扱った言語材料を理解し、それらを用いて正しい文を書いたり、やりとりをすることができる。本文に関するテーマについて聞いたことをふまえて自分の意見を書いたり、伝え合うことができる。	自分の気持ちや考えを伝えるために、本文で扱った言語材料を用いて短い文を書いたり、ペアで話し合ったりすることができる。意見交換ができるように学習した語彙や言語材料を用いて自分の意見を話したり書いたりできる。	自分の考えを述べたり、意見交換ができるように必要な情報を積極的に得ようとしている。自分の意見を発表するために、必要な情報や考えを整理して書こうとしている。情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝え合ったりしている。
評価方法	ルーブリック評価表を利用するなどして、評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に向かう態度」の3つの観点から、授業態度、テスト結果、提出物などの学習活動を総合的に判断して評価する。		